

ゆうかり Yukari

vol.
01

2023.8
SUMMER

特集 | 特別対談

これからの当院、地域連携をどう考えるのか



| CONTENTS |

創刊記念 理事長・院長就任 特別対談 / 診療科紹介 (形成外科・皮膚科、糖尿病内分泌内科) / デイサービスとデイケアのご紹介

| 創刊記念 理事長・院長就任 特別対談 |

これからの当院、地域連携を どう考えるのか



理事長

院長

看護部長

安田 浩

緒方 賢一

谷中 靖代

皆さま、お集り頂きありがとうございます。
理事長、院長就任に際して、看護部長を
交えて対談という形で、「これからの当
院、地域連携をどう考えるのか」という
テーマでお話を伺いたいと思いますので
よろしく願います。

一同…よろしく願います。

——理事長、院長に新たに就任され
て約3ヶ月が経ちましたが、いかが
ですか？

安田…昨年7月に院長になり、今年4月
に理事長就任と、職責の重さを感じて
います。当法人のいいところと修正す
べきところが分かってきたので、改善
策を考えながら進めていきたいと思っ
ます。緒方先生はいかがですか？

緒方…院長となっても、診療のやりかた
は変わりませんが、空床があると気にな
るようになり、入院依頼や、外来が
忙しいとありがたいと感じます。また、
理事長の大変さが分かるようになりました。

——先生方が当院に来られた経緯を
教えてください。

安田…産業医大に勤務していて30年前か
ら皮膚科の外勤で月に数回来ていまし
た。その縁で前理事長の大北先生から
お誘いいただき、こちらに赴任しまし
た。

緒方…赴任前は当直で来ており、家庭の都合で実家に戻ることになり、大北良輔先生（前々理事長）に相談した際に、当院での勤務を誘われ、赴任しました。

——早速ですが、質問に移らせて頂きます。当院には一般病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟がありますが、当院での重点的な取り組みや目標としていることはありますか？

緒方…当院は地域に根ざした病院を目指しています。地域の皆さんのお役に立てるように、入院は積極的に受け入れたいと思っています。患者さんが元気になり退院して頂くことを目標にしています。

安田…当院は急性期病院の後方病院として、在宅・施設への繋ぎとしての病院だと考えています。一般外来では比較的急性期の疾患も診ることができ、総合内科的な役割を担っていただければと思います。私自身は、形成外科・皮膚科の担当で、この地域では珍しい診療科なので、地域のニーズにこたえられるかなと思います。また、昨年から



ら糖尿病内分泌内科を開設し、専門医の先生が常勤になったので、増加傾向にある糖尿病の疾患の治療もしっかり行っているのではないかと考えています。今後は糖尿病の教育入院も充実させていきたいと思っています。

谷中…当院の特性として高齢の方が多く、看護部は患者さん中心の看護実践ができることが大切だと考えています。外来においては形成外科・皮膚科が常設となり、地域の方のためになればと考えています。

——病棟についてですが、療養病床が4床となり、長期入院対応が難しくなっていますが、退院支援への課題やその解決に向けての取り組みはいかがでしょうか？

谷中…療養病床が4床に縮小されたので、地域包括の60日以内で退院ができない方がいらつしゃるのが現状で、なかなか在宅や施設に帰れないところが大きな問題です。また、経口摂取が困難となり経鼻経管栄養や胃ろうになり、夜間の喀痰吸引が必要となると、受入先が見つかりにくくなります。入院が長い方をどのように地域に戻って頂くかが課題だと感じており、法人内に訪問看護やデイサービスがあるので、うまく活用し在宅復帰ができればと考えています。



——長期の入院、施設への退院、退院先での関係など、皆さまはどのように考えていますか？

緒方…長期入院の方の退院先調整が難しい状況です。施設との連携が大切で、当法人には入所施設がないため、連携施設と協力していかなければなりません。

安田…連携施設との協力への取り組みとして、医療連携室の医療ソーシャルワーカー（MSW）を増員し、医療連携の充実を進めています。

緒方…連携室も人が増えて、連携がとりやすくなりました。

谷中…外来看護師から連絡してもすぐに対応してもらえないようになって、強みになっていくのではないかと思います。

——在宅介護で、家族の介護等の負担軽減目的での入院（レスパイト入院）の需要に対し、当院ではあまり対応できていません。今後のレスパイト入院や地域包括ケア病床の活用はどのように考えていますか？

緒方…現状レスパイト入院は実績が少ないですが、対象の患者さんがいれば積極的に受け入れたいと考えています。家族の負担軽減ができれば、地域貢献にも繋がっていくと思います。

谷中…訪問看護を利用中の患者さんは、長期間在宅で頑張っているケースが多いと思うので、ご家族への支援に繋がるよう、病院として受け入れていく体制を整えることが大切だと考えます。特に神経難病の方は本人だけでなく、家族も苦労して在宅での生活を支えているケースが多いので、少しでも力になつていきたいと考えます。

安田…レスパイト入院中のリハビリはどうでしょうか？

谷中…レスパイトで入院をするなら、リハビリをして頂きたいと思っています。入院しただけでは筋力が落ちてしまうので、リハビリについても院内で検討して対応できるようにしていきたいです。神経難病などの方のリハビリ目的での入院も対応していきたいと考えています。

——地域で生活を続けていくためにはケアマネジャーだけでなく、かかりつけ医との連携や、施設との連携が必要ですが、この辺りはいかがでしょうか？

緒方…かかりつけ医や施設の先生とは、外来や入院患者さんを紹介して頂き、退院後に診て頂くことになるため、



連携が大切だと感じています。そのため、紹介状や診療情報提供書のやり取りを適切に行うことが重要だと考えています。

谷中…当院がかかりつけ医という視点で、患者さんなんでも相談できる医師がいることが大切だと考えています。患者さんの気持ちに寄り添うことが大切だと思います。

安田…一方で在宅療養支援病院として訪問診療をされている在宅医の後方受け入れ病院として提携していますが、

当直医師が外部の医師のため、夜間や休日などの緊急受け入れが難しいところがジレンマに感じています。

谷中…当院の訪問看護はお看取りまで対応していますが、当院が対応できていないため、夜間帯の問題などで他医療機関にお願いしている現状があるので、病院の課題だと感じています。

緒方…患者さんのためにも訪問診療も行っていかないといけないと考えています。

谷中…限定された方にはなりますが、夜間でも受け入れる指示を先生から事前に頂く場合や、ターミナルで一度帰宅されてもいつでも受け入れる条件で安心して帰宅して頂くケースもあるため、今後調整して増やしていければと考えています。

安田…現状の医師数や看護体制では難しい現状があるので、今後の取り組みべき課題だと感じています。

——ケアマネジャーからの入院相談が少ないように感じますが、今後どのような連携が必要と考えますか？

緒方…連携室が窓口になっていて任せつきりにはなっていますが、当院の情報を積極的に発信してもらい、ケアマネジャーからの情報があればすぐに報告してもらえるとありがたいです。やはり直接患者さんを見ている方なので、ケアマネジャーからの情報は大切だと

思います。

安田…担当のケアマネジャーに対して、連携室から当院ができることをアピールしてもらうことが大切だと感じています。当院からできる限り情報提供する努力をしていきたいと思っています。

——今後の当院の展望などをお聞かせください。

安田…現状では老朽化に伴い施設的な問題が大きく、病院の建替えを計画しています。

入院部門としては地域の急性期病院からの受け入れをスムーズに行い、在宅医と連携し後方支援をしっかりと行いたいと思います。外来部門としては外来ブースを増やすなど環境整備を行い、外来部門を充実させ、地域住民の方が気軽に受診して頂けるような病院を目指し、当院をかりつけ医として末永くご利用頂ければと思います。

——当院は呼吸器専門病院として長く取り組んでおり、そのイメージが強くあると思います。緒方先生は睡眠時無呼吸症候群治療に長年取り組んでこられてきたと思いますが、今後の新たな挑戦などあれば教えてください。

緒方…今やっていることは伸ばしつつ、特に睡眠時無呼吸症候群は診断から治



療まで当院でできますので、広く患者さんや地域の先生方にも知ってもらいたいと考えています。また、禁煙外来も現在準備しており、これまでなかった分野にも挑戦していきたいと考えています。

願望ではありますが、小さくてもキラキラ光る宝石のような病院になりたいと思っています。ご家族や患者さんに寄り添う医療を提供し、職員一同気持ちを一つにして患者さんの笑顔のために頑張りたいと思います。安田先生が来られて新しい風を感じていて、病院建替えの計画も進んでいますので、今後に期待してください！

谷中…建替えに期待していますが、中身もついでにいかないといけないため、看護部も新病院に見合うように改善に取り組んでいきたいと思っています。

形成外科・皮膚科

医師 安田 浩

当院では以前より月2回程度、非常勤で皮膚科診療を行っておりましたが、2022年7月より常勤となりましたので、外科的治療を含めて本格的に診療を行っております。

皮膚科診療だけでなく、形成外科領域の診療も行っていきますが、形成外科は認知度が低く、どのような疾患を扱っているのかよく聞かれます。当院では局所麻酔で行える手術に限られますが、京築地区で小手術が行える医療機関も少ないため、ご紹介を頂けるようになってきております。当院で形成外科・皮膚科診療を行っていることをご存知ない医療機関や患者さんも多く、今回は主な診療内容をご紹介します。今後この領域で地域医療に貢献できればと願っております。



1 皮膚科一般診療

通常の湿疹、皮膚炎、白癬、帯状疱疹などを診療しています。高齢の患者さんが中心ですが、最近子供さんのアトピー性皮膚炎なども診療する機会が増えてきました。帯状疱疹は検査キットを導入し、迅速に診断、治療を行っており、ワクチン接種も可能です。

近年腋窩や手掌の多汗症治療薬が開発され、当院でも対応可能です。

2 皮膚の外科的治療

近隣の医療機関より皮膚腫瘍切除のご紹介を多く頂いています。粉瘤などの腫瘍や母斑切除を行っています。母斑に関しては後述の炭酸ガスレーザーによる蒸散をお勧めすることもあります（自費診療）。また腫瘍の中には時に皮膚がんが含まれることもあり、皮膚生検による診断から腫瘍切除に加え、皮弁や植皮による再建も行っています。この場合は数日の入院をお勧めすることもあります。皮膚がんは専門医でないとは診断が難しい場合があります。特に潰瘍が治らないと紹介された症例が皮膚がんであることも少なくなく、お気軽にご相談ください。

3 熱傷、外傷、褥瘡、難治性潰瘍の治療

保存的治療でできる範囲の熱傷、軽微な外傷や褥瘡、難治性潰瘍の治療も行っています。小範囲の熱傷であれば外用療法に加え、植皮も可能です。外傷では一般的な縫合や、適切な外用治療などを行います。褥瘡に関しては特に皮下ポケットを有する場合の切開や、陰圧閉鎖療法を用いて褥瘡を縮小させる治療が可能で、褥瘡の状態に応じて適切な治療法を提言できると思っています。また動脈閉塞性や静脈うっ滞性の潰瘍もご紹介頂いています。前者では血管治療が必要になる場合もありますので、その場合は適切な病院に治療を依頼し、潰瘍治療を当院で行うことが可能です。皮膚の潰瘍を含めた傷の治療は形成外科が専門だという自負をもって治療にあたっています。



4 形成外科診療

当院で一番多いのは眼瞼下垂症の手術です。加齢に伴う眼瞼下垂に対して一般的に眼瞼挙筋腱膜短縮を中心とした手術を行っています。両側同時の場合は術後安静と冷却目的で1泊2日の入院をお勧めしています。陥入爪の方も紹介を多く頂いています。保険診療は手術を中心として行っていますが、自費治療ではワイヤーによる矯正も行っています。その他、手術後の癍痕、ケロイドなどの保存的治療も行っています。

5 レーザー治療（自費診療）

当院ではロングパルスレーザー（アレキサンドとYAGの複合機）とフラクショナル炭酸ガスレーザーを導入して診療を行っています。顔面のいわゆるシミ、全身の脱毛、顔全体のひきしめ治療が行えます。フラクショナル炭酸ガスレーザーでは通常の炭酸ガスレーザーより精密に組織を蒸散できるので、顔面の小さい母斑、小さいイボ（皮色）、脂漏性角化症などを蒸散しています。これらは自費診療となりますのでご了承ください。レーザー治療をご希望の方は病院HPもしくは下記QRコードの予約サイトから予約をお願い致します。



レーザー治療予約

診療科紹介 | No.2

糖尿病内分泌内科

医師 南 陽平

令和4年4月より新田原聖母病院に赴任して参りました糖尿病内分泌内科の南 陽平と申します。

糖尿病治療は進歩が著しく、新規糖尿病治療薬が次々と登場しています。それに伴い、より質の高い血糖管理が可能となりました。一方で、年齢・併存疾患・体格などの個々の病態や生活スタイルに合わせて治療薬を選択する必要が生じるため、専門性が高まっていることも否めません。

糖尿病治療の基本的な目標は合併症予防ですが、高齢者では特に低血糖リスクの軽減やサルコペニア^{※1}の予防を加味して薬剤調整を行う必要があります。高齢者の患者様が多く通院する当院では、長年使用しているSU剤^{※2}を減量・中止して他剤に変更したり、インスリン導入を行う症例が多い傾向にあります。

糖尿病治療の再教育・治療薬の見直し（インスリン導入等も含めて）が必要な患者様がおられましたら、紹介ください。

地域医療に貢献すべく、専門的かつ適切な治療を提供できるように努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。



※1 サルコペニア→高齢に伴い筋力が低下していく現象。
 ※2 SU剤→膵臓に働いてインスリンの分泌を促し、血糖を下げる作用のある薬。

糖尿病教室のご案内

参加無料／予約不要

患者様に向けた糖尿病教室も開催しております。興味のある方はお気軽にご参加下さい。

お問い合わせ／新田原聖母病院 TEL 0930-23-1006



デイサービスとデイケアのご紹介



デイサービス（通所介護）とは

要介護状態となった場合においても、ご利用者が可能な限り自宅において、持っている能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話および機能訓練を行います。ご利用者の社会的孤立感の解消、心身の機能の維持並びにご利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る目的で提供されるサービスのことです。

デイサービスの特徴

スタッフ 介護職員（介護福祉士・ヘルパー含む）：12名
准看護師：3名 整体師：1名

食事および入浴・排泄などの日常生活全般で支援が必要となる方へのサービスを行います。日中のご家族の負担軽減もひとつの目的として、お困りごとに合わせてサービスを提供します。

食事… 管理栄養士指導のもと、ご利用者に応じた食形態の調整を行っています。併設の厨房にて調理を行っているため、調理後の温かい食事をすぐに提供できることは当デイサービスが自信をもっている環境であり、ご利用者からもお褒めの言葉を頂いています。



入浴… 要支援1の方から利用することが可能で、安全なサービスの提供と日ごろの疲れを癒して頂けるような支援を心掛けています。

整体師の配置… 希望によりサービスを提供しています。

利用できる方

介護保険にて要支援・要介護の認定を受けている方で、ご自宅での生活に支援が必要となる方、家族の介護負担が大きくなっている方、他者との交流が少なくなっている方などに対応しています。

サービス提供地域

行橋市、みやこ町、築上町
みやこ町は勝山、築城町は寒田など幅広く送迎も可能です。

サービス提供日時

月～土曜日 9：00～15：00
休み：日曜、お盆8月15日、お正月12月31日～1月3日

デイケア（通所リハビリ）とは

病院や診療所、老人保健施設などで、理学療法士などのリハビリ専門スタッフによる身体機能の改善や悪化予防、生活機能向上のためのリハビリテーションを行うサービスです。利用は介護保険で要支援・要介護と認定された方が対象となります。



デイケアの特徴

スタッフ 理学療法士：4名 作業療法士：1名
助手：2名 運転手：4名

利用時間が1時間～2時間未満の短時間型で、食事や入浴のサービスはなく、リハビリのみ重点的に実施しています。

リハビリ… ご利用者ごとに理学療法士などの専門スタッフが専属で担当し、身体機能の変化や体調・経過に合わせて運動内容を調節します。

運動… 集団での体操ではなく、専属スタッフがご利用者の身体機能や要望に合わせた個別の運動プログラムを決めて行います。

環境… 病院内のリハビリ室で行うため、体調不良や急変時は病院内の医師が迅速に対応します。



利用できる方

介護保険にて要支援・要介護の認定を受けている方、脳神経疾患、整形外科疾患、退院直後など様々な方に幅広く対応しています。

サービス提供地域

行橋市、みやこ町、築上町
※当院から車で片道20分程度の距離に対応しています。

サービス提供日時

月～金曜日（祝日を除く）
午前9：00～12：00 / 午後13：30～16：30
※午前・午後の提供時間のうち1時間以上2時間未満でリハビリを実施

外来担当医師一覧表

令和5年8月現在

診療科	時間帯	月	火	水	木	金	土
循環器内科	午前	—	大北 泰夫	—	—	大北 泰夫	—
	午後	—	大北 泰夫	—	—	大北 泰夫	—
呼吸器内科	午前	緒方 賢一	諸岡 三之	緒方 賢一	諸岡 三之	—	緒方 賢一 (第1・3・5週)
	午後	諸岡 三之	—	緒方 賢一	—	諸岡 三之	—
内科	午前	馬込 敦	—	馬込 敦	—	長野 俊久	担当医
	午後	長野 俊久	—	馬込 敦	馬込 敦	—	—
糖尿病 内分泌内科	午前	—	—	—	南 陽平	—	南 陽平 (第2・4週)
	午後	—	南 陽平	—	南 陽平	—	—
整形外科	午前	—	—	矢次 登	—	—	—
	午後	—	矢次 登	—	—	矢次 登	—
形成外科 ・皮膚科	午前	安田 浩	—	安田 浩	安田 浩	—	安田 浩
	午後	形成外科手術 (予約のみ)	—	形成外科手術 (予約のみ)	—	—	—

外来診察日

時間帯	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:00 ~ 17:00	○	○	○	○	○	休診

■休診日

日・祝日、8月15日、12月30日～1月3日

専門外来

■ 脳神経内科／毎週木曜日 14:00～16:30
(魚住武則)

■ 眼科／第2水曜日 14:00～16:30 (月1回)

■ 消化器内科／毎週木曜日 午前 (予約のみ)

■ 放射線科／土曜日 午前 (月1回・予約のみ)

※患者さんが少ない場合は、早めに受付を終了する場合があります

関連施設

新田原在宅ケアセンター	TEL 0930-25-4404(代)
仲津高齢者相談支援センター	TEL 0930-26-1180
ほっと新田原(居宅介護支援事業所)	TEL 0930-22-2304
新田原訪問看護ステーション	TEL 0930-23-8877
新田原デイサービス通所介護	TEL 0930-23-8394

診療科目

内科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・形成外科・皮膚科・糖尿病内分泌内科
脳神経内科・消化器内科・眼科・放射線科・リハビリテーション科

病床数

一般病床53床 地域包括ケア病床49床 医療療養病床4床(計106床)

理 念 「敬愛(敬天愛人)」 神を敬い、人を愛する心です

指 針 今を生きる、地域と人に優しい病院であり続けたい

基本方針

- 1 地域と共に生き、要望に応えるべく、変革の気概を持つ。
- 2 十分な説明と同意に基づく信頼の医療を行う。
- 3 求めに迅速に応え、迅速に対応する。

中期ビジョン

- I 急性期から在宅まで、地域の医療機関・介護施設と連携し、地域医療を支える地域連携の中心病院となります。
- II 呼吸器、循環器、糖尿病内分泌内科、整形外科、形成外科・皮膚科を中心として地域の幅広い患者さんの要望に応えるため、救急から看取りまで行います。
- III 医療・介護の情報発信に努め、地域住民に開かれた病院となります。
- IV 職員が誇りと高い使命感のもと、より働きやすい病院をめざします。
- V 経営基盤の強化を行い、地域から必要とされる新病院計画を策定します。



特定医療法人 敬愛会 新田原聖母病院

〒824-0025 福岡県行橋市大字東徳永382番地
TEL 0930-23-1006 FAX 0930-22-5682
<https://www.s-seibo.or.jp>